

カナダ議会議事堂(オタワ)での衛兵交代の様様。



新鮮な空気の中でもりもりと湧く食欲。ピクニックをしたり、釣りをしたり、森の奥深くわけ入って小さな冒険をしたり、楽しさがいっぱい。カナダの家庭に自然にとけ込むこのユニークなツアーへの参加は、オンタリオ州南部各地で可能。料金は一週間で食事を含んで百ドル前後と格安。子供づれでももちろんOK。

へトロント近郊

オンタリオ州の中心地として発展したトロントは、今やカナダ第二の都市であり、日系カナダ人が一番多いこともあって日本人に最も親しみやすいところ。トロントを基点とした見どころをあげてみると……。

●百年前をそのままに、ブラック・クリーク・パイオニア・ビレッジ
中心地から車で北北西に三十分、ジーン通りのステイールズ街にあり、

百年前のオンタリオの小さな村落をつくりそのまま再現している。もともとここに建っていた五軒の開拓者達の丸太小屋を中心とした、印刷屋、かじ屋、靴屋などでは、人々が百年前そのままの服装で仕事についている。四月から十月は月曜と金曜の午前九時三十分より午後五時、週末と休日は、午前十時より午後六時。

●マスコーカ地方の紅葉祭り

トロントから北百六十キロのマスコーカは、無数の湖と小川のある夏のリゾート地として有名な所だが、この地方の紅葉が湖面や小川のせせらぎに映える風景はまた格別の趣きがある。毎年九月十五日から十月十五日までの一カ月間、「マスコーカ・カバルケード・オブ・カラー」と呼ばれる紅葉祭りが催されることは、意外に知られていない。ピクニック、カメラ持参のツアー、七面鳥デイナー、パレード、ダンス……とお祭りは華やかに続く。

●紅葉列車
トロントから北西に約七百キロのアガワ・キャニヨンの紅葉は、カナダでも一、二を争うすばらしさ。アルゴマ・セントラル鉄道が毎日一往復、スー・

サンマリーを朝八時に出発、紅葉の山々をぬって正午にアガワ・キャニオンに到着。写真をとったり、岩登りをしたり、たっぷり楽しめる。ただし、週末には、のんびり秋の一日を味わおうという観光客でいっぱいになる。食堂車もついている。

トロントからの紅葉見物のパッケージは多数出ている。

へキングストン

トロントから北東に百五十六キロ、オンタリオ湖がセントローレンス川にそそ

ぎこむ地点に一六七三年に設立された、オンタリオ州最古の町キングストン。その西端、セントローレンス川に面して、キングストン砦が見える。ケベック以西では最強を誇っていたというこの砦では、当時の英国軍の軍服を着た衛兵が十九世紀さながらに演習を再現して見せる。七月と八月に一般公開される。

18世紀当時そのままに再現された医者の家。(アッパー・カナダ・ビレッジ)



ウェイを北東に約百三十キロ。モリスバーグ近郊にあり、百年以上昔の王党派(ロイヤリスト)の村落と生活が再現されている。パン屋のおばさん、水車小屋のおじさん、教会の神父さん……当時そのままの生活を営んでいる人々に話しかけてみよう。おとぎ話の世界さながらに、いつしかカナダの心ふるさたと触れた感動があふれる。五月中旬から九月下旬までオープンしている。